

1. 事業の概要

里地里山は、動植物の生息空間として、生物多様性保全上重要な役割を担っているが、近年の過疎化による手入れ不足や、都市近郊の開発などにより、里地里山の消失や質の低下が顕在化してきている。

環境省では、平成16年度より、全国4箇所のモデル地域において、国（農林水産省・国土交通省）、都道府県、市町村、NPO、専門家等が参画する協議会を設立し、対策の検討を開始しているが、モデル地域だけでなく、全国各地で里地里山保全の関心が高まり、支援の要請が大きくなっている。このため、新たに、生物多様性保全上特に優れた里地里山（重要里地里山）の候補地を全国から募集し、自然環境・社会環境・保全活動の実態について把握を行った上で、有識者により構成する検討会により、重要里地里山の選定を行う。

さらに、4地域におけるモデル事業の成果や課題も踏まえ、重要里地里山における保全管理のガイドラインを取りまとめる。

2. 事業計画

事業内容	H16	H17	H18	H19	H20
モデル地域の地域戦略策定					
モデル事業					
重要里地里山選定					
ガイドライン策定					

3. 施策の効果

我が国における生物多様性保全上特に優れた里地里山の特定が可能。

国民の里地里山保全への認識を深め、併せて、全国各地の様々な主体による里地里山保全活動を適切な方向に促進。

重要里地里山の選定

【現 状】

- ・国土の約4割が里地里山
- ・全国を対象とした、里地里山保全施策が、必ずしも十分に講じられていない
- ・施策を講じる優先順位が必要

【手 法】

- ・全国から重要里地里山の候補を募集
- ・以下の特性を踏まえ、有識者検討会で、重要里地里山を選定
 - 生物多様性特性
 - 社会的特性
 - 景観・文化特性
 - ふれあい・地域活動特性 等

【効 果】

- ・将来に亘り保全を図るべき、里地里山の特定が可能
- ・施策等の集中により、効率的かつ効果的な保全が可能
- ・重要里地里山の情報発信、PRにより、全国の里地里山保全活動を、適切な方向に促進

